



TOOL
SuperStream-CORE

1.クライアントモジュール配信機能追加

■ 機能追加背景

クライアントモジュールの適用作業はクライアントマシン毎にアップデート作業が必要でした。

■ 機能内容

SuperStream起動時に配信サーバーとの差分を自動認識して同期をとる仕組みを追加しました。配信の準備は拠点となる共有フォルダの作成と管理者メニューからの設定のみで行えます。アドオンモジュールの配信も同様に行えます。
(※SuperStreamとは別のフォルダで動作する様な特殊なアドオンを除きます)

■ メリット・効果

クライアントマシン毎にモジュールのアップデート作業を行う必要がなくなります。また、設定情報はクライアント側ではなく、データベースに持ち、業務ユーザは通常通りSuperStreamを起動するだけのため、配信を意識する必要はありません。

■ 対応プログラム

・配信設定: モジュール配信設定 / TC000100(管理者メニュー) 配信プログラム: ss-core.exe

©2011 SSJ K.K. All rights reserved.
147

TOOL
SuperStream-CORE

1.クライアントモジュール配信機能追加

【関連図】

※配信サーバー
配信サーバーはファイルをネットワーク上で共有するだけのものであり、OSがサーバ製品である必要はありません。1台のクライアント機のSSCOREYBINフォルダを共有することでも実現可能です

インストール履歴を残すため、従来のインストーラを使用して、配信するクライアントプログラムを配信サーバー上の配信拠点フォルダにインストールします

©2011 SSJ K.K. All rights reserved.
148

TOOL
1.クライアントモジュール配信機能追加

【モジュール配信設定】

**配信元フォルダを設定します
※配信元に指定するフォルダは
クライアントから参照できる必要
があります**

**チェックを付けた場合、各端末の受信が
正常終了した場合に、自動的に配信No
が0(無配信)に戻ります**

**端末毎に配信する/
しないを設定します。
配信する場合は配信No
を指定します**

☐ 配信が正常終了したら配信Noを[0]に戻す

©2011 SSJ K.K. All rights reserved.

149

TOOL
1.クライアントモジュール配信機能追加

【モジュール配信設定 配信履歴参照】

配信履歴の確認が可能

ソート

保存

©2011 SSJ K.K. All rights reserved.

150

TOOL

1.クライアントモジュール配信機能追加



[V2の場合]

V2起動 自動配信
ログイン画面
メニュー表示



SS-CORE.exe







「ss-core.exe」は配信モジュールに、
ログインモジュールは「ss-login.exe」に変更

最新モジュール

配信ファイルがある時

```

配信実行日時: 2011/07/07 21:38:08
配信元フォルダ: W:\Distribute_Server\会計Patch
配信先フォルダ: C:\SSCORE\BIN
■配信ファイル:
ssd01_001.exe 2011/08/08 15:24
ssd1_002.exe 2011/08/08 15:24
ssd1_003.exe 2011/08/10 16:36
■配信ファイル数: 3
End Log.

```

配信ファイルがない時

```

配信実行日時: 2011/07/07 21:41:41
配信元フォルダ: W:\Distribute_Server\会計Patch
配信先フォルダ: C:\SSCORE\BIN
■配信ファイル:
配信元とタイムスタンプの異なるファイルはありません。配信は行われませんでした。
■配信ファイル数: 0
End Log.

```

©2011 SSJ K.K. All rights reserved.
151

TOOL

1.クライアントモジュール配信機能追加



V3起動 自動配信

ログイン画面

メニュー表示

SuperStreamClient.exe



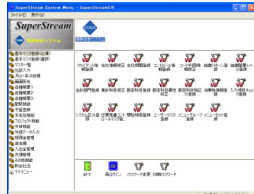
→ ファイルのチェック中・・・



V3のモジュール更新後、
V2の配信処理が行われます

ログもV2同様に出力されます





配信ファイルがある時

```

配信実行日時: 2011/07/07 21:33:08

配信元フォルダ: \\WDI\tribute_Server\会計Patch
配信先フォルダ: C:\SSCORE\BIN

■配信ファイル:
=====
ss01_001_ebd 2011/06/08 15:24
ss01_002_ebd 2011/06/08 15:24
ss01_003_ebd 2011/06/10 16:36
■配信ファイル数: 3
End Log.

```

配信ファイルがない時

```

配信実行日時: 2011/07/07 21:21:41

配信元フォルダ: \\WDI\tribute_Server\会計Patch
配信先フォルダ: C:\SSCORE\BIN

■配信ファイル:
=====
配信元とタイムスタンプの異なるファイルはありません。配信は行われませんでした。
■配信ファイル数: 0
End Log.

```

©2011 SSJ K.K. All rights reserved.

152

TOOL

1.クライアントモジュール配信機能追加



参考:ケースごとの配信時間

●測定環境
 クライアントPC:WindowsXP intel Core2duo 3Mhz Memory2GB
 LAN:100Mbps
 SuperStream-CORE,AP+,AR+,FA+,PN+(1770ファイル)導入済

- ケース1 通常のPatchを想定した「pbd」5ファイルでの配信
 約2秒 (一瞬、上記の「しばらくお待ちください」画面が表示されるイメージ)
- ケース2 バージョンアップを想定したCOREモジュールすべての1770ファイルでの配信
 約20秒
- ケース3 配信設定なし(マスタのチェック処理のみ)
 約0秒 (上記の「しばらくお待ちください」画面は確認できないイメージ)
- ケース4 配信設定ありだがCOREモジュールすべての1770ファイルのタイムスタンプが同じで
 配信されないとき(メモリー内でのチェック処理)
 約2秒 (一瞬、上記の「しばらくお待ちください」画面が表示されるイメージ)

※ SSJ社内環境での計測のため、計測結果は参考情報です

©2011 SSJ K.K. All rights reserved.
153

TOOL

2. 前提パッチチェック機能追加



■ 機能追加背景

パッチをインストールするための前提適用条件の確認は、各システム担当者の目視確認のみだったため、インストールミスが発生することがありました。

■ 機能内容

DBパッチインストール時に、適用条件を確認する機能を追加しました。

■ メリット・効果

インストーラ側で条件を制御することにより、インストールミスが軽減されます。

■ 対応プログラム

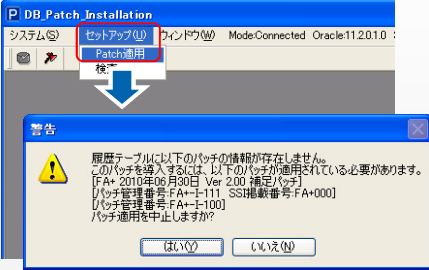
・DB_Patch_Installer

©2011 SSJ K.K. All rights reserved.
154

TOOL
SuperStream-CORE

2. 前提パッチチェック機能追加

【画面イメージ】



警告

履歴テーブル以下のパッチの情報存在しません。
このパッチを導入するには、以下のパッチが適用されている必要があります。
[FA+ 2010年08月30日 Ver 2.00 補足パッチ]
パッチ管理番号: FA+I-111 SS掲載番号: FA+000
パッチ適用を中止しますか?

はい いいえ

Upgrade.txt

```

*****
[DROP_PROC]
DROP_PROC.SQL
*****
[ROLE]
SSROLE1          rPB11QIR2K2;
*****
[PATCH]
TRUE
*****
[PRECONDITION]
FA+ 2010年08月30日 Ver 2.00 補足パッチ
FA+I-111 FA+000
FA+I-100
*****
[PROHIBITION]
FA+P-123 FA+321
          
```

Patch適用時に、必要なパッチがインストールされているか、Upgrade.txtの内容を元にDBインストール履歴 (CMPSAHST) をチェックし、インストール履歴に存在しない場合は、警告を表示します

[PATCH]: チェック機能の有効無効を設定

[PRECONDITION]: 必須パッチ設定
※適用前提となるパッチを記述する

[PROHIBITION]: 禁止パッチ設定
※適用禁止となるパッチを記述する

©2011 SSJ K.K. All rights reserved. 155

TOOL
SuperStream-CORE

3. 帳票出力先の無効化機能追加

- 機能追加背景

Excelが未インストールの環境で、帳票出力時にExcel出力を選択し、エラーが発生することがありました。
- 機能内容

ClientMGRに帳票出力ダイアログの表示設定を追加し、クライアント毎に「帳票出力設定」画面の出力先の指定を制限する機能を追加しました。
- メリット・効果

「セキュリティの為、帳票を出力させない」「プリンタに直接印刷させない」「Excelがインストールされていないので利用しない」など利用方法が考えられます。
- 対応プログラム

・ClientMGR(ClientMGR.exe)

©2011 SSJ K.K. All rights reserved. 156

TOOL
SuperStream-CORE

3. 帳票出力先の無効化機能追加

【ClientMGR画面】

V2

※注意
全ての項目にチェックをつけて無効にすると、帳票を出力できなくなります

V3

【帳票出力設定画面】

※V2とV3は共通の設定になります。

©2011 SSJ K.K. All rights reserved. 157

TOOL
SuperStream-CORE

4. LogManager簡易削除拡張対応

■ **機能追加背景**

保存されたログデータを会社単位やプロダクト単位で削除することができませんでした。

■ **機能内容**

データアクセスログ、操作ログ、画面起動ログ、ログインログの簡易削除について、従来の対象期間指定に加えて「会社」および「プロダクト」での削除を可能としました。

■ **メリット・効果**

ログデータを管理する上で必要なログデータのみを残すことが可能です。

■ **対応プログラム**

・LogManager

©2011 SSJ K.K. All rights reserved. 158

TOOL
SuperStream-CORE

4. LogManager簡易削除拡張対応

【LogManager画面】

「会社」および「プロダクト」を指定することができます。

©2011 SSJ K.K. All rights reserved. 159

TOOL
SuperStream-CORE

5. その他新規追加・改善機能

■ その他新規追加・改善機能

改修箇所	改修内容
SuperStream接続用Oracleユーザー (COREUSER)の有効期間延長	Oracle11g環境の場合、Oracleユーザーのパスワードの有効期限が初期設定で180日となるため、COREUSERに有効期限なしのプロファイル「COREUSERPROFILE」を設定する。
CSV出力時のダイアログ変更 (プリントエンジン)	CSV出力時のダイアログをWindows標準のダイアログに変更する。 ➡
プリンタ名称の表示幅変更 (プリントエンジン)	長いプリンタ名称を出力できるように表示幅を変更する。

©2011 SSJ K.K. All rights reserved. 160

TOOL

付録.変更DB一覧



■ 変更DB一覧

変更内容	テーブルID	テーブル名	カラム名	項目名
新規テーブル	CMDISMST	配信設定マスタ		
	CMDISHST	配信履歴テーブル		
カラム追加	CMUSRINF	ユーザー端末情報	PC_DIST	配信区分

©2011 SSJ K.K. All rights reserved.

161



第3部 人事給与シリーズ

～バージョンアップの内容ご説明～

エス・エス・ジェイ株式会社

カスタマーサポート部

堤 伸子

SSJ

Super Stream